

仙北市長
門脇 光浩

先日、角館小学校の大運動会に参加して、子どもたちの応援合戦に感動しました。選手として競技に出場しない間、それぞれチーム（紅組・白組・緑組・黄組）の控え所前で、ずっと声援をかけ続ける子どもたちの姿…。熊谷教育長が「います。このような応援風景は、県南のどの学校にも負けない、仙北市の伝統・強みです」と。

何だか、モヤモヤしたものが吹き飛んだ気がしました。市政は辛い出来事が続き、市民の皆さんにご迷惑をおかけしている中、「おとなたちも頑張れ」と、声をかけてくれているような気がしました。以前、私は次のようなことをお話しした記憶があります。「仙北市は、3人の親から生まれた子どもです。親から全てを受け継ぎ、産みの苦しみで仙北市が誕生したのです。それから6年、市を人間に例えると、最近やっと小学校に入学した子どもです。仙北市が立ち上るために、家族（市民）一人ひとりが愛情を注いでください」

今、ますますその思いを強くしています。所得税還付等の問題、決算額の乖離問題は、小さな子ども（市の将来を左右する大きな出来事です。乗り越えるには、何としても家族（市民）の応援が必要です。引きずったままでは、とても前に進むことができません。1日でも早く解決し、仙北市再生の道を爆走したいと思います。

現在、市職員はその責を背負いながら毎日の仕事にあたっています。さらに私は、職員に対し市民サービスの向上を求めています。職員数の削減を続けながら、大規模な定期人事異動を2年続けたことで、市民や職員間に混乱が生じていることも認識しています。ただ職場の常識や慣例に囚われない、市民本位の創造的な仕事をする環境整備は、何より急務です。我がままなお話ですが、市民と職員、お互いの応援合戦をどうかお願いします。

大震災支援 NEWS & Information ニュース&インフォメーション

問合せ：東日本大震災支援本部 ☎ 43-0261



生保内公園つつじを観る会 満開のつつじの中もちつきで交流

6月5日、生保内公園で開催されている「つつじを観る会」に、東日本大震災で市内に避難されている方々が招待され、約70人が、満開のつつじを鑑賞しました。

お昼には、交流もちつき会が行われ、つきたての餅が参加者に振る舞われたほか、秋田民謡も披露され、楽しい一時を過ごしていました。



角館南高等学校 岩手県立高田高校へ義援金

角館南高校が、バレーボールで交流のある岩手県立高田高校へ義援金を送りました。

震災直後から続けてきた義援活動には生徒、PTA、同窓会などから多くの方が賛同し、総額1,885,654円になりました。

「絵画・音楽・造形」 多くの皆さんから義援金をいただきました

平福記念美術館で開催した、絵画（日本画 細川良治さん）・音楽（Otoを楽しむ会 代表安藤満里さん）・造形（ペーパークラフト・花田恵さん）が、4月17日から5月31日まで、平福記念美術館に義援金箱を設置し、それぞれの芸術を鑑賞した皆さんから、ご協力をいただきました。また、「がんばろう！東北角館の桜」期間中にOtoを楽しむ会で主催した、本田武久さんと鳥井俊之さんのチャリティコンサートの収益金の一部と本田さん個人からも義援金をいただき、総額270,000円が被災地へ送られます。



保健の掲示板

1 歯周疾患検診を受けましょう

今年40・50・60・70歳を迎えられる市民が、むし歯・歯周病など、お口の状態をチェックできる制度です。ぜひ、お口の健康を維持する貴重な機会ですので、身近な指定歯科医院で受診してください。受診期間も約5カ月と制限がありますのでご注意ください。

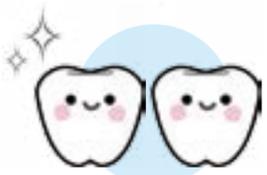
対象年齢	生年月日
40歳	昭和46年4月2日～ 昭和47年4月1日
50歳	昭和36年4月2日～ 昭和37年4月1日
60歳	昭和26年4月2日～ 昭和27年4月1日
70歳	昭和16年4月2日～ 昭和17年4月1日

◆受診方法／①指定医療機関に電話で予約（配布されている用紙の裏面を参考にしてください）②黄色の受診票を持って受診

*健康保険証を持参ください。（お願い）各医療機関で、検診曜日や診察時間、予約制などに違いがあります。受診前は、希望する医療機関に電話でお問い合わせください。

◆検診の内容／①問診（むし歯の有無、体の状態、歯の治療、手入れについて）②口腔内診査（現在ある歯に異常はないか・入れ歯や処置済みの歯に異常はないか・歯肉に異常はないか・お口の中の清掃状況はよいか）③検診の結果判定（正しいブラッシング指導の適否、治療の有無）④歯科保健指導（検査結果説明、今後のお手入れなどについて）

◆料金／1,000円
◆無料になる方／仙北市国保加入者、70歳、市民税非課税世帯証明書持参者、生活保護受給者
◆検診期間／10月31日（月）まで
◆問合せ／仙北市保健課 ☎ 55-1112



2 がん検診無料クーポン券を使ってがん検診を受けましょう

仙北市の集団検診が、角館の胃がん検診から始まっています。市では今年度、特定の年齢に達した方に対して、それぞれ胃がん・乳がん・子宮頸がんの、「がん検診無料クーポン券」を5月末に送付しています。送付された方は、この機会の受診をお勧めします。

クーポン券の使用方法は、送付された通知をご覧ください。また、検診受診時には、クーポン券を必ず持参ください。転入等で持ちでない方、紛失された方は保健課にご連絡ください。

【対象年齢】（平成24年4月1日の年齢）

●胃がん検診無料クーポン券／41・51歳の男女

●乳がん検診無料クーポン券／41・46・51・56・61歳の女性

*通常の市の検診では41・51・61歳の方は対象になりませんが、クーポン券を持参すると受診することができます。

●子宮頸がん検診無料クーポン券／21・26・31・36・41歳の女性

*通常の市の検診では41歳の方は対象になりませんが、クーポン券を持参すると受診することができます。

◆問合せ／仙北市保健課 ☎ 55-1112

3 介護予防教室 「若返り教室」のお知らせ

仙北市包括支援センターでは、高齢者の方々が住み慣れた地域で元気に日常生活を営むためのお手伝いをさせていただいています。

今回は、長く楽に歩くことができるよう、転ばない足腰づくりをするための若返り教室を開催することにしました。

足腰にもっと自信を持ちたいけれど、激しい運動は向いていないと考えている方。足の手入れから始めてみませんか。

たくさんの方々の参加をお待ちしています。

◆期日／7月13日（水）、7月22日（金）、7月27日（水）、8月3日（水）、8月10日（水）、8月17日（水）、8月24日（水）
*毎回参加できなくても大丈夫です。

◆時間／10：00～11：30

◆対象／65歳以上の方で要支援・要介護認定を受けていない方

- ◆会場／紙風船館（西木町上桧木内）
- ◆内容／自分でできる足のマッサージ、手入れ
- ◆講師／
1・7回目：渡辺ユミ子氏（秋田市）
2～6回目：進藤ミツホ氏（田沢湖）
- ◆準備するもの／タオル、バスタオル、水分補給のための水かお茶
- ◆申込締切／7月4日（月）
- ◆申込・問合せ／仙北市包括支援センター ☎ 43-2283

4

あなたの力を活かしてみませんか？

地域介護予防活動支援事業の 公募について

仙北市では、地域で健康づくりや寝たきり、認知症予防、閉じこもり防止に関する活動を行っている、または行おうと考えている団体、グループに対して補助をする事業を行っています。

このような活動を行う団体が市内に増えてくることで、見守りや生きがいづくりなどが充実し、安心して暮らせる町づくりにつながっていくものと考えています。

地域では、皆さんの力を必要としています。

◆対象グループの要件／市内に住所を有し、5人以上で結成されたボランティア団体または各種団体で他の助成を受けていない団体

◆活動内容の例／
・老人クラブ等の集まりに出向き、趣味活動や健康活動の実践を行う
・高齢者宅を訪問し、話し相手になる
・近所の高齢者に集まってもらい、お茶会や趣味の会、健康の会を開く
・生活で困っていることのお手伝いをする 等

◆補助金額／1団体当たりの助成額は、申請件数、事業内容を勘案して決定します。（10万円を限度とする）

◆主な提出書類／①事業実施計画書
②収支予算書 ほか
*申請に関する様式は包括支援センターにあります。

◆その他／申請書類を検討し、活動内容が当事業の主旨に沿わない場合は助成できないことがあります。

◆募集期間／6月16日～30日まで
◆問合せ／仙北市包括支援センター ☎ 43-2283 FAX 47-2116